

技術部 女子 2020年度 活動報告

- 活動目的
 - ・女子選手を対象にした技術向上、県民大会への準備とその成果
 - ・活動休止中または、活動場を模索している女子選手へのセフティネットとしての活動
- 活動方針
 - ・女子部と連携し県民大会参加に必要な人材(女子選手)の発掘と強化
 - ・各女子サッカークラブ、高校女子サッカー部との連携深化
 - ・各種女子大会や練習試合の企画、準備、および運営とその協力
 - ・女子選手のサッカー環境整備(定期的な練習および試合の場の提供)
 - ・上記1～3項に必要な指導員やスタッフの育成
- スタッフ
 - ・総括者:江角 覚 ヘッドコーチ:塚本 和良
 - コーチ:山田 員之、堀井 翼、久積 誠、相馬
 - 事務局:江角 覚(兼任)

■活動実績

	カテゴリ				
	U12	U15	U18	O18 lady's	O40 Mrs
<大会>					
成田女子サッカーフェスティバル	×中止				
千葉県女子サッカーleague					○
成田女子サッカー大会					○12/20
千葉県女子サッカーleague					○
県民体育大会				中止	
千葉県女子U15大会		○			
うなり君カップ				○3/14	
<練習>					
定期練習1 (Mrs、lady's)				○	○
football school	8/8(9)、9/5(7)、11/7(4)、12/19(3) 計4回実施 ※()内は参加者数				
県民大会強化練習	11/15、12/6の2回実施				
<講習会>					
D級指導員講習会	1名参加(10/10.11)				

Mrsチームとの連携として有志対象に参加を募り、一緒に練習実施した。また、Mrsリーグ(県協会主管)や各種大会への参加費補助他の資金援助もした。

■レビュー

活動休止中、活動の場模索中の女子選手へのセフティネット活動も含まれていたが、参加率が低く新規女子選手の発掘は、高校生含む数名にとどまった。

football schoolについては、毎回参加数が少なく、当日まで参加者がわからないこともあり、練習メニュー構築に影響した、計画的な練習や指導ができたのは数回にのみで小学生世代など年代の幅に対する指導陣不足にも直面した。

特に県民大会の強化練習では、現存する数少ない選手の殆どがクラブ加入しており、該当クラブへの協力要請時点で障壁もあった。→派遣要請手順化実施。

練習試合の相手チームも事前に呼んでの実践練習も、肝心の自チームの女子選手が集まり自体が不安定で、できたのはシニア+男子(五十、四十雀)相手で2回のみ。11人揃えてのフルビッチでの練習は1度もできなかった。結果的に県民大会が中止となったが、来期には整える必要がある。

女子選手の発掘は成り行きでは無理がある。今後は新人女子選手が参加できる定期的な練習や試合の機会を通じ発掘していくか、高校女子サッカー一部などのつながりの再構築、その他仕組みを整えていかななくてはならないと感じた。

■報告者

技術部女子事務局